

谷口まさのり

所沢市政レポート

2024年9月議会 + α 編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112/tani.eco@dream.ocn.ne.jp



Facebook



Instagram



Twitter

「始発男！」は
子どもにツケを
残さない！



- ◆『ヤングケアラー』問題、改めて、対策の推進を求める！（実態調査／家事ヘルパー派遣）
- ◆経済的に厳しい高校生の大学等への進学をあきらめさせない！（入学時給付金20万円以上を提言）
- ◆『ペロブスカイト型』太陽電池の実証実験／2025年度以降の公共施設での設置を提言（裏面）
- ◆夏の『暑さ』、🌍 何とかしなきゃ！私達ができること（冬版：省エネ・節約生活のススメ）（裏面）

◆ヤングケアラー、早期の実態調査(SOSが出せる手法で)、家事ヘルパー派遣を求める！（半歩前進？の兆しアリか？）

要旨



←始発男！の谷口



←中継録画



Q: 所沢市は残念ながら、いまだ、ヤングケアラーに関しての実態調査を行っていない。

一方、多摩市では『早期発見・早期支援』を目的に、SOSが出せるような『任意での記名方式』で、小学生高学年、中学生、高校生に対して、小・中学生には、1人1台導入のタブレットを活用、高校生にはスマホ等を活用した実態調査を実施し、ヤングケアラー対策を推進している。

ヤングケアラーを早期に把握し、支援につなげる為、所沢市も同様の実態調査を早期に実施することが必須である！見解は？

(部長)

A: 本年6月に国からの通知で、『任意の記名式など、回収後に個人が把握できる方法により、市町村が調査を実施することが重要である』旨が示された。国からは、必要な経費補助について、2025年度に向けて検討しているとも聞いており、国の動向を注視していく。

Q: 現在、実態調査を行ってなくとも、ヤングケアラーに関する情報・相談は、学校、近隣住民などを通じて所沢市に上がってくるケースがある。本年4月に、改正児童福祉法が施行され、「ヤングケアラー家庭を含めた、家事ヘルパー派遣事業」が市町村の努力義務となった。日々苦闘しているであろうヤングケアラーを確実に救う為、上記の家事ヘルパー派遣事業を出来るだけ早く、所沢市として事業化すべきと考えるが、いかがか？

(部長)

A: 現在、こども家庭庁発出のガイドラインの確認や、他市の状況について調査を進めており、今後の実施に向けて検討を行っている。

私、谷口まさのりは、引き続き、ヤングケアラーに関して、SOSが出せる実態調査の早期実施、家事ヘルパーの派遣事業など、子ども達に寄り添った対策を求めてまいります！

◆経済的に非常に厳しい高校生の大学等への進学をあきらめさせない！（一般質問）



今回、経済的な理由で、大学などの進学に躊躇せざるを得ない高校生への支援で、何が出来るか？という観点から、現在、所沢市では、入学時に上限40万円の貸与の制度はありますが、さいたま市、川越市、北本市が実施しているような『入学時の給付金(20~25万円)』(学業成績・所得の審査を経て)を提言致しました。

(私自身、5歳の時に父が他界し、それ以降、母子家庭で育ち、貸与型の奨学金は勿論こと、その他の支援策などで、高校卒業後の学生生活を乗り切った経験をしています。)

(裏面へ)

◆『ペロブスカイト型』太陽電池の実証実験／2025年度以降の公共施設での設置を提言 (一般質問)



ペロブスカイト太陽電池 (展示会にて)

『ペロブスカイト』は、数年以内に『流行語大賞』を受賞か？

現在は、建物の屋根に設置するシリコン系太陽電池が主流ですが、今後は、フィルム型で、『薄く、折り曲げやすい』タイプのペロブスカイト型太陽電池が、ゲームチェンジャーとして主流になってくると、私は予想しており、『家やビルなどの壁、クルマの屋根・ボディなど』に装着した形での実用化が徐々に近づいていると考えます。(2025年の大阪万博で、某大手メーカーが設置予定) 今回、6月議会に続き、私は、ほとんどお金をかけない実証実験実施を提案し(メーカー等と共同で)、更に、環境省が2025年度への概算要求で、『ペロブスカイト太陽電池や蓄電池』で、**119億円を盛り込む方針**の報道を取り上げ、2025年度以降、環境省の有利な補助金を活用し、まずは市内の公共施設での設置を実現し、今後の『民間分野』での設置推進への呼び水的な動きを行うことを提言致しました。

◆夏を含めた、この『暑さ』🌍 何とかしなきゃ！ 私達ができること (冬版:省エネ・節約生活のススメ)

(このレポートをご覧いただいている時季は、秋深し、というタイミングかと思いますが…)



自分の為、子どもの為、孫の為、私達は何ができる???

今年の夏は連日最高気温が35℃以上の猛暑日が、『これでもか!』という具合に続き、外出すること自体、危険な夏となってしまいました。まさに『地球沸騰化』の時代に突入してしまった感があります。

我々責任世代として、自分の為、子どもの為、孫の為、何ができるでしょうか？

上記のペロブスカイト型太陽電池や洋上風力発電などの再生可能エネルギーで、私達が生活するエネルギー(電気/熱)を賄えるような技術開発と爆発的な普及、そして、『大気中からの賢いやり方でのCO2回収・固定化など』が勿論必要ですが、我々自身が『出来るだけ少ないエネルギー』で生活を送るようにすることも大変重要です。(全世界的に) つまりは、可能な範囲での自宅等における『省エネ生活』が1つの方向です。

これからの冬の季節、無理のない可能な範囲で、みなさん、『省エネ生活』へのトライはいかがでしょうか？ 寒い時季には、まずは厚着で、『首・手首・足全体とスネ』を暖める。(以下に使用グッズ写真) これが肝です。この生活スタイルによって、今までよりも、設定暖房温度の低減や暖房時間の短縮につながると考えます。



谷口まさのり プロフィール 詳細エピソード付き！プロフィール！👉

- ◆ 1965年(昭和40) 北海道生まれ(留萌市) / 埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業
 - ◆ 栗田工業(環境系)や省エネ企業に15年間勤務 / 1997年の『地球温暖化防止 京都会議(COP3)』参加
 - ◆ 2011年4月 所沢市議選に初当選、現在4期目 (元)副議長 無所属『改革派!』として活動中!
 - ◆ 趣味等: スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員) / カラオケ / カブトムシ採り / 大のビール党
日課はメダカのエサやり、ウォーキング時の「花」の観察
 - ◆ 環境カウンセラー(環境省資格) / 社会保険労務士(年金と雇用の関連資格) / 認知症サポーター
- 『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。
始発! 前の時間(小手指駅は朝4:40から / 狭山ヶ丘駅は朝5:00からなど)から、
駅では、14年前より、レポートを配布しております。

